

会員の皆様へ：年会費納入の情報：郵便封筒の宛名下の数字参照。2022は2022年度まで納入済み。

しのばず自然観察会より 2022-10 2022.10.01

2022年10月の活動 不忍池定点観察

集合：2022年10月9日（日）午前10時 不忍池 蓮池南西端
緑の小旗あり（野外ステージ西側、湯島天神下交差点寄り） 今回は雨天中止
持物：筆記用具、双眼鏡、雨具 飲み物、マスク、敷物、日傘、（昼食）
解散は午後1時頃ボート池畔または藤棚 暑さ対策も！



不忍池がある台東区では、週当たりの新型コロナ新規感染者数は検査数の減少もあり、ピーク時7月下旬の半分ほどになりましたが、感染率は50%を越えたまま高止まりになっています。一方、生活行動・レジャーは緩め放しで以前のような制限が発動されていません。気を緩めることなく、感染防止に努めてください。

11月の活動予定 不忍池定点観察

2022年11月20日（日）午前10時 不忍池 蓮池南西端集合 の予定です。

2022年9月の活動 不忍池定点観察 より

9月11日（日）、曇り空ですが涼しくなった朝、9名参加でスタート、蓮の花が咲き残り、ヒガンバナの花が開き始めていました。前世紀には9月までハスの花があるのは普通だったので、ちょっと感傷にふけりました。

途中から、近くにお住いのMさんが参加されました。千駄木にある本郷図書館で開催中の「千駄木ふれあいの杜」写真展のなかで、不忍池でも観察会があるという情報を見てとのこと。Mさんは蓮の花に魅せられて、毎日のように早朝、不忍池に通っているそうです。

しのばず自然観察会 事務局 〒110-0001 台東区谷中3-1-9 小川潔 方
1975年創立 電話 03-3828-8775 URL: <http://sinobazu.extrem.ne.jp>
郵便振替 00100-8-84609 しのばず自然観察会 年会費 2,000円 ほかに行事参加費

**2021年以前の会費未納の方もお忘れなく！退会の場合は早めに葉書で事務局へ。



ハスの葉の上にすわったカイツブリ

シマスズメノヒエ

タケニグサ

9月の観察記録メモ 動物：カルガモ、カワウ、カイツブリ、スズメ、ハシブトガラス、ドバト、クサガメ（亀）、コイ、モツゴ、シオカラトンボ、ウチワヤンマ、ギンヤンマ、アオスジアゲハ、モンキアゲハ、クロアゲハ、キタキチョウ、ヤマトシジミ（蝶）、ミンミンゼミ、アブラゼミ、スズメバチの仲間、（シロテン）ハナムグリの仲間

植物 開花（または実）：ハス（移入）、カキ（移入）、キョウチクトウ（移入）、ミソハギ（移入）、アベリア（移入）、ヤブラン（移入）、ヤブカラシ、タケニグサ、ワルナスビ、カタバミ、イヌタデ、アレチノギク？（移入）、ノゲシ、ヒガンバナ（移入）、シロバナヒガンバナ（移入）、シマスズメノヒエ（移入）、エノコログサ、アキメヒシバ？ オヒシバ、カヤツリグサ？ ガマ（移入）

不忍池 2022年夏から秋へ 小川 千恵子

蓮

8月14日、葉丈はグンと伸びて、水上音楽堂のところは私が背伸びをしても池の中の方の花は見え、そばに人が居なくて、私がもう少し若かったら、手すりに上がって、ぜひ、上から見てみたいと思いました。花の色は7月10日より濃くなっていて、実も多くなっていました。弁天堂の西側から動物園池の方を見ると、東と西をつなぐ橋があります。蓮の葉が背高く繁り、橋の手すりが見えず、橋を歩く人達は肩から上が見え、まるで蓮の中をすーっと横切って滑るように動いて見えました。これが朝もやの中で見たら、すごく幻想的で絵のように美しい光景だろうと思いました。

9月11日、葉丈はまた伸び、花の色は8月同様に濃く、花は少なく、代わりに黒や茶色の実が林立していました。

以前、色々な蓮を植える試みをした場所の浮き橋の入り口から正面（北方向）を見る

と、丈高の葉の上に実がたくさんこちらを見て立っており、つい足を止めて見とれました。ゴッホのヒマワリみたいと思ってしまいました。弁天堂西側から見た動物園池の橋は、葉丈が伸びて歩いている人の頭だけが見える状態になっており、感激はありませんでした。

藤棚

弁天堂の参道を入ると右側に幅3～4m、高さ3m位の藤棚があります。8月14日、この藤棚に紫色の花が何輪も咲いているのを見つけました。「二度咲き」と私が言うと、Sさんが「狂い咲き」と。モロッコインゲンを太く大きくしたような実がたくさんぶらさがっていました。いつも休憩したりお昼を食べたりする巨大な藤棚の方は、一面は葉がおおい茂っていて、中は見えませんが端の方に少し小さな紫の花の房が見えました。ここに「剪定をします」と書かれてあったので小さい方もするのかしら？と思いました。9月11日、小さい方の藤棚は房の小さい花がまだ少し咲いていました。大きい実はなく、小さい実がぶら下がっていました。

キョウチクトウ

7月10日、弁天堂藤棚から池を見ると、水上音楽堂の右に、木全体が濃いピンク色の丸い山盛りの綿あめに見える塊がありました。既に通って来た所ですが、参加者7名誰ひとり気づかずに通り過ぎてしまったのです！キョウチクトウです。8月14日、木の北側方向の枝に、色の薄い花がかたまって咲いていました。9月11日には、色薄く、1つずつの花が大きくなって、木全体にまばらに咲いていました。

ヒガン花

9月11日、集合地近くで、白い咲かけのヒガンバナを見つけました。弁天堂西側の池の端に満開の赤いヒガンバナが一群あり、池の周囲のいろんな所にいくつもの花芽が伸びてきました。家に帰って我家の鉢を見ると2輪、花芽が伸びていました。結局18輪咲きました。地面からニョキッと蕾のついた茎が次々と伸び1日に10cmも伸びて、針金細工のような花を咲かせるヒガンバナは小学生にも人気です。

ここ数年、不忍池の定点観察となっていますが、今年程、毎月の変化に感激したことはありませんでしたので、書いてみました。10月9日に何が見つかるかとても楽しみです。

